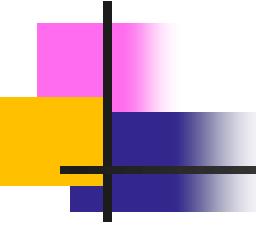




# マクロ経済学A

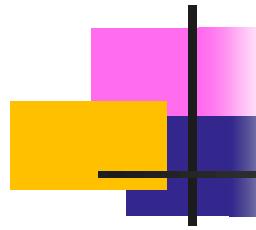
## 第3回 GDPとは



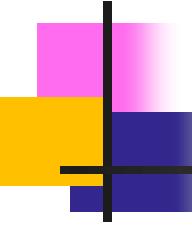
# この授業の内容

---

- ① 三面等価の原則
- ② GDPの測り方
- ③ GDPに似た指標とGDP算出の決まり事



## ① 三面等価の原則



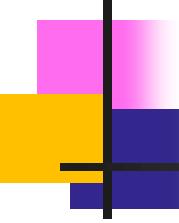
# 国の豊かさの3つの物差し

農家の今年の豊かさを測る例

現時点での豊かさは農家の所有する資産で測る

では今年（1年間）の豊かさは？

1. 生産 どのくらい米を収穫できたか
2. 所得 生産したコメを売ってどのくらい収入を得たか
3. 支出 収入でどれくらい消費をおこなったか



## 三面等価の原則（経済主体が1人の場合）

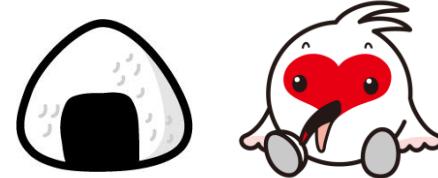
この国にはとっぴー君1人が住んでいるとすると

毎年とっぴー君はお米1000kgを生産

生産したお米は自分ですべて食べる

お米1000kgが100万円だとするとこの国では

生産 100万円、 所得 100万円、 支出 100万円



# 三面等価の原則（経済主体が2人の場合）

この国にはとっぴー君とT-ダックちゃんの2人が住んでいるとすると  
毎年とっぴー君はお米1000kgを生産  
T-ダックちゃんは従業員として働いている  
生産したお米は2人すべて食べる



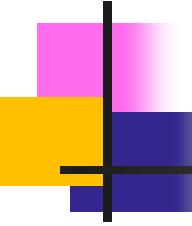
お米1000kgが100万円だとするとこの国では

生産 100万円

所得 100万円（とっぴー君50万円 T-ダックちゃん50万円）

支出 100万円（とっぴー君40万円 T-ダックちゃん60万円）

※とっぴー君の貯蓄10万円とT-ダックちゃんの借金10万円が一致



## 三面等価の原則

三面等価：

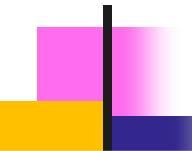
生産・所得（分配）・支出、どの面で測っても経済の活動水準は同じになること

生産されたものはすべて企業の売り上げになり、売り上げはすべて生産に貢献した人々に分配される

$$\text{国内総生産} = \text{国内総所得}$$

生産されたものが購入される

$$\text{国内総生産} = \text{国内総支出}$$

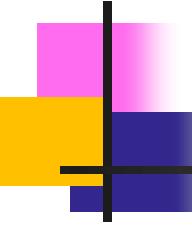


# データ上の三面等価（内閣府「国民経済計算」）

項目	2017	2018	2019	2020	2021	2022
雇用者報酬	273,598.0	282,345.5	287,864.5	283,444.9	289,456.4	296,274.8
営業余剰	106,769.6	98,309.3	91,622.5	72,750.4	77,333.5	78,610.9
固定資本減耗	130,646.1	132,933.6	134,647.7	136,446.9	140,601.6	145,987.1
粗税	45,554.1	45,939.3	46,468.0	48,947.0	50,988.1	53,227.9
補助金	2,989.6	2,988.8	3,134.0	3,211.7	3,518.8	7,000.2
統計上の不突合	2,109.2	289.1	2,230.1	631.5	-1,218.5	-610.9
国内総所得	555,687.4	556,827.9	559,698.8	539,009.0	553,642.3	566,489.6
民間最終消費支出	303,006.0	304,774.3	303,931.1	289,441.7	298,188.6	315,849.2
政府最終消費支出	107,706.7	109,089.1	111,827.1	113,834.2	118,769.0	122,091.6
総固定資本形成	139,050.4	140,692.6	142,215.1	136,814.5	141,107.1	147,968.6
在庫品増加	1,838.0	2,303.0	2,037.5	-673.4	2,266.5	3,552.8
輸出	98,692.3	101,288.0	95,457.9	84,403.4	103,819.4	123,245.1
輸入	94,647.9	101,685.7	95,966.7	84,811.3	110,508.3	146,217.6
国内総支出	555,687.4	556,827.9	559,698.8	539,009.1	553,642.3	566,489.7
国内総生産	555,687.4	556,827.9	559,698.8	539,009.1	553,642.3	566,489.7



## ② GDPの測り方



# GDPとは

SNA (System of National Accounts : 国民経済計算)

一国経済全体の会計原則

日本を含めた多くの国がこれに沿ってデータを作成

← 国際比較が可能となる

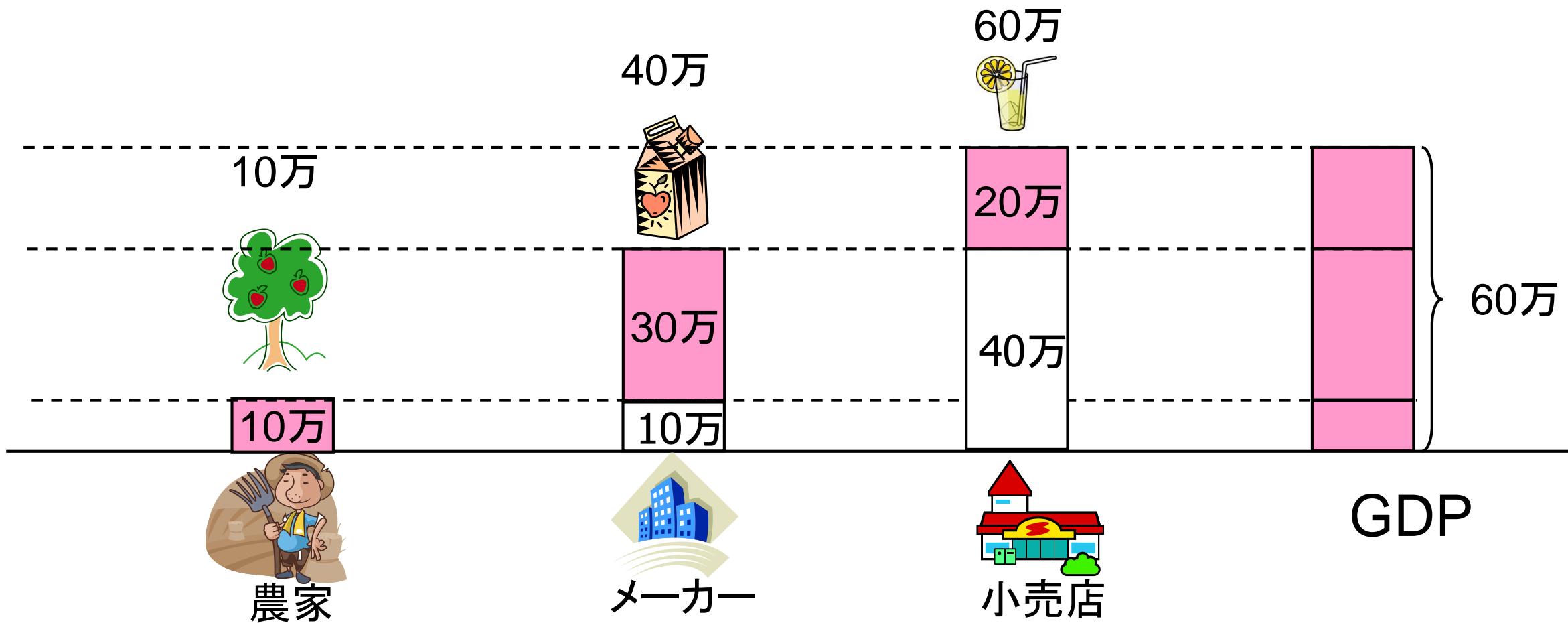
GDP (Gross Domestic Product : 国内総生産)

一定期間に、国内で新しく生産された最終的な財・サービスの取引総額を市場価格で計算したもの

- 一定期間：3か月や1年 ← フロー変数
- 国内：外国で生産されたものは含まれない
- 最終的な財・サービス：中間財は含まれない

# GDPの測り方

リンゴジュースのみを生産する国のGDP



# GDPの測り方を変えたら？

リンゴジュースのみを生産する国

※中間投入額を除かないで計算してみると

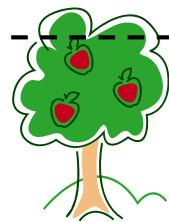
企業が合併をして、総合メーカーとなると60万？

40万

60万

110万

10万



10万

40万

60万



農家



メーカー



小売店

# GDPの測り方を変えたら？

リンゴジュースのみを生産する国

※中間投入額を除かないで計算してみると

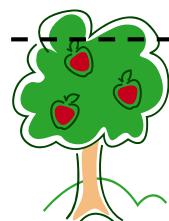
企業が合併をして、総合メーカーとなると60万？

40万

60万

110万

10万



10万

40万

60万



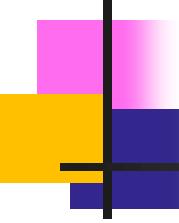
農家



メーカー



小売店



# 分配面からみたGDPの構成要素

財市場において収入を得る経済主体

家計：雇用者報酬を得る

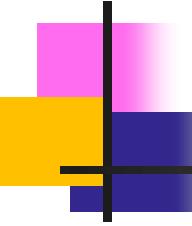
企業：営業余剰を得る

政府：税金を得て、補助金を支払う

それ以外：資本の減耗分（固定資本減耗）を補填

分配面から見たGDP

$$\begin{aligned} \text{国内総生産} = & \text{ 雇用者報酬} + \text{ 営業余剰} + \text{ 租税} - \text{ 補助金} \\ & + \text{ 固定資本減耗} \end{aligned}$$



# 支出面からみたGDPの構成要素

財市場において支出を行う経済主体

家計：消費（C）を行う

企業：投資（I）を行う

政府：政府支出（G）を行う

外国：純輸出（NX）を行う

純輸出：輸出から輸入を引いたもの

支出面から見たGDP

$$Y = C + I + G + NX$$

# 2022年度の生産面、分配面、支出面のGDP

生産面

国内総生産  
566.49

分配面

統計上の不適合 -0.61

租税・補助金 46.23

雇用者報酬  
296.27

営業余剰  
78.61

固定資本減耗  
145.99

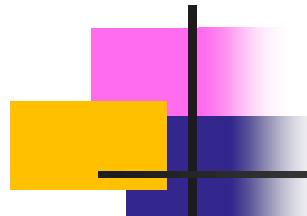
支出面

純輸出 -22.97

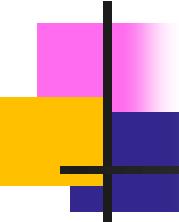
消費  
315.85

投資  
151.52

政府支出  
122.09



### ③ GDPに似た指標とGDP算出の決まり事



# GDPに似た指標：GNI

GNI (Gross National Income : 国民総所得)

一定期間に国民が受け取る所得の総和

GNI = GDP + 海外からの純要素所得

= GDP + 海外からの要素所得受取り

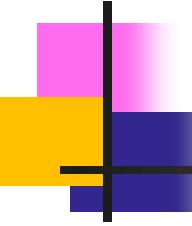
－海外への要素所得支払い

GDP



GNI





# GDP算出の決まり事

## 帰属計算

市場で取引されない財・サービスの価値を求め、GDPに計上する手続き

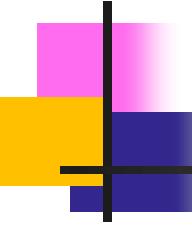
### GDPに計上されるもの

- 農家の自家消費

農家自身が自分が栽培した農作物を自ら消費すること

- 持ち家の住宅サービス

自ら所有している住宅を家賃の市場価格から自分に家賃を支払っているとして計算



# GDP算出の決まり事

GDPに計上されるもの

- 公共サービス

引っ越しや結婚や出産の際の手続きに対する対価は公務員の給与と同額として計上

- 現物給与

現物として支給された財・サービスは雇用者報酬に含まれるとして計算

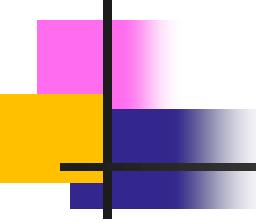
GDPに計上されないもの

- 主婦（主夫）の家事労働

家庭内における炊事・洗濯・掃除などの家事サービスは帰属計算されない

- ボランティア活動

無償で行われているボランティア活動は帰属計算されない



# この授業で学んだこと

---

## 三面等価の原則

生産面、分配（所得）面、支出面で測ったGDPの水準は一致

## GDPの測り方

中間財は除いて付加価値の合計で算出

## GDPに似た指標とGDP算出の決まり事

GNI、帰属計算